

2020 年 10 月 28 日

横浜ゴム、ADVAN タイヤ装着車が JAF 全日本ダートトライアル選手権の 4 クラスでシリーズチャンピオンを獲得

横浜ゴム（株）の ADVAN タイヤ装着車が「JAF 全日本ダートトライアル選手権」において 4 つのクラスで 2020 年シリーズチャンピオンを獲得※しました。

今年の「JAF 全日本ダートトライアル選手権」は新型コロナウイルスの影響で計 5 戦が中止となり、10 月 24 日から 25 日にスピードパーク恋の浦（福岡県）で開催された最終戦を含む全 3 戦で競われました。横浜ゴムは一般ダートから硬質ダート用「ADVAN A053」をはじめ、軟質路面用「ADVAN A031」や超硬質路面用「ADVAN A036」など幅広い路面に対応したタイヤラインアップで勝利を足元から支えました。

チャンピオンを獲得したのは、PN-2 クラスの宝田ケンシロー選手（ADVAN オクヤマスイフト）と、SA・SAX-1 クラスの葛西キャサリン伸彦選手（YH 速心ガレージクロノス MR2）、SA・SAX-2 クラスの荒井信介選手（クスコ ADVANitzz ランサー）、SC-2 クラスの大西康弘選手（YH・TEIN・AG ランサー）。2019 年は PN-2、PN-3、N-1 の計 3 クラスでヨコハマタイヤユーザーがシリーズチャンピオンを獲得しており、今回 PN-2 クラスでチャンピオンを獲得した宝田ケンシロー選手は昨年に引き続き、2 年連続となります。

横浜ゴムは中期経営計画「グランドデザイン 2020（GD2020）」の技術戦略において、モータースポーツ活動を重要な先行技術開発の場と位置付け、トップカテゴリーからグラスルーツカテゴリーまで国内外の多岐にわたるモータースポーツ競技に参戦しています。JAF 全日本ダートトライアル選手権でも多数のマシンがヨコハマタイヤを装着しています。今後もモータースポーツ活動に積極的に取り組み、最高レベルの技術を追求していきます。

※シリーズランキングは、後日発表される JAF(日本自動車連盟)による認定で最終決定となります。



PN-2 クラスで 2 連覇を達成した「ADVAN オクヤマスイフト」



左から大西康弘選手、宝田ケンシロー選手、
荒井信介選手、葛西キャサリン伸彦選手

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：池田
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570